



平成 27 年 4 月 10 日

各 位

上場会社名 株式会社福島銀行
代表者 取締役社長 森川 英治
(コード番号 8562 東証第 1 部)
問合せ先 執行役員企画本部長
佐藤 明則
(TEL 024-525-2525)

新中期経営計画の策定について

当行は、平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間を計画期間とする新中期経営計画「ふくぎん 本気 (マジ) 宣言Ⅱ」を策定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 名称 「ふくぎん 本気 (マジ) 宣言Ⅱ」
2. 期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 (平成 27 年度～平成 29 年度)
3. 目指す姿
「真面目にがんばっている人を 真面目に応援する 真面目な銀行」
－ ウォーム・マネーの福島銀行 －
 - (1) 福島銀行は、事業を通じて地域社会の発展に貢献します。
 - (2) 福島銀行は、お客様を助け、励まし、勇気づける暖かいお金やサービスの創造と提供に努めます。
 - (3) 福島銀行は、お客様を笑顔でお迎えし、笑顔でお帰りいただける店作りに努めます。
 - (4) 福島銀行は、お客様の夢の実現と課題の解決に努めます。
 - (5) 福島銀行は、お客様のお役に立つため不断の自己研鑽と自己改革に努めます。
 - (6) 福島銀行は、社会の役に立つ事業活動を通じて健全な利益の増大に努めます。
4. 主要課題と基本方針
 - (1) 顧客・地域支援力の強化
 - ①人が生き生きと暮らす福島を創る
 - ②企業活動が活発に行われる福島を創る
 - (2) 顧客・地域を強力に支援するための基盤・能力・収益力の強化
 - ①顧客満足度の向上
 - ②優れたサービスをより多くの皆様に享受していただくための顧客数拡大
 - ③高い志を持ち、顧客・地域の要請に応える能力を持った行員の育成
 - ④収益機会の発掘・拡大と経営管理の高度化による収益力の強化

以 上

中期経営計画 『ふくぎん 本気（マジ）宣言Ⅱ』

（平成27年4月1日～平成30年3月31日）

目指す姿

『真面目にがんばっている人を 真面目に応援する 真面目な銀行』
— ウォーム・マネーの福島銀行 —

- ① 福島銀行は、事業を通じて地域社会の発展に貢献します。
- ② 福島銀行は、お客様を助け、励まし、勇気づける暖かいお金やサービスの創造と提供に努めます。
- ③ 福島銀行は、お客様を笑顔でお迎えし、笑顔でお帰りいただける店作りに努めます。
- ④ 福島銀行は、お客様の夢の実現と課題の解決に努めます。
- ⑤ 福島銀行は、お客様のお役に立つため不断の自己研鑽と自己改革に努めます。
- ⑥ 福島銀行は、社会の役に立つ事業活動を通じて健全な利益の増大に努めます。

主要課題

顧客・地域支援力の強化

顧客・地域を強力に支援するための
基盤・能力・収益力の強化

主要課題	基本方針	重点項目
顧客・地域支援力の強化	人が生き生きと暮らす福島を創る	○人生のライフステージやライフイベントを強力にサポートする高感度の商品・サービスの提供（リテール戦略の強化） ○社会貢献活動の取り組み強化
	企業活動が活発に行われる福島を創る	○創業支援の強化 — 創業支援チームの立上げ ○企業活動活発化に向けた課題解決支援の強化 — 地元企業支援チームの立上げ ○事業の再生支援の強化
顧客・地域を強力に支援するための 基盤・能力・収益力の強化	顧客満足度の向上	○かゆい所に手の届く心のこもったサービスの提供 ○ストレスの少ない心地よいサービスの提供 — 待ち時間の短い窓口の実現 — インターネット支店の高度化
	優れたサービスをより多くの皆様に享受していただくための顧客数拡大	○企業融資先数の拡大 — 「顧客課題管理表」活用による提案営業の徹底 ○給与振込み先の拡大 ○年金受給者の拡大
	高い志を持ち、顧客・地域の要請に応える能力を持った行員の育成	○人材開発態勢の強化 — 若手の早期育成 — 女性幹部育成・登用
	収益機会の発掘・拡大と経営管理の高度化による収益力の強化	○ヒト・モノ・カネの有効活用の徹底 — 事務の合理化・効率化 — 貸出・有価証券のポートフォリオの見直し — 手数料ビジネスの拡大

最終年度（平成29年度）数値目標

当期純利益
30億円の堅持

自己資本比率
10%程度

企業融資先数
1,200先増加
（現在4,860先）

給振十年金
6,000先増加
（現在66,870先）